

チャペル週報

No.25

2023.12.4～12.8

マリアは男の子を産む。

その子をイエスと名付けなさい。

この子は自分の民を罪から救うからである。

マタイによる福音書 1章21節



Central Garden (神戸三田キャンパス)

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時間:西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30~11:00 神戸三田キャンパス 10:40~11:10
場所:各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

12月4日(月)	神 経 人 建 聖和	井上 武史(法学部教授) 李 相勲(宣教師、経済学部准教授) アドベントを覚えて 嶺重 淑(宗教主事) 角野 幸博(建築学部教授) アドベント礼拝 小山・手良村クラス
12月5日(火)	神 文 社 法 経 商 国 理・工・生環 総 教	アドベント礼拝 井上 智(神学部助教) Andreas Rusterholz(宗教主事) クリスマスを前にして① 藤原 康洋(中学部長) 岩野 祐介(神学部長) 定年退職者最終講話② 新海 哲哉(経済学部教授) 木原 桂二(宗教主事) 音楽チャペル 関西学院ハンドベルクワイア 榊田 翔希(日本キリスト教団 尼崎教会牧師) 石原 誠(神戸三田キャンパス職員) 宗教総部
12月6日(水)	神 社 法 商 人 国 理・工・生環 教	望月 康恵(法学部教授) 定年退職者による最終チャペル講話 宮原 浩二郎(社会学部教授) Christian M. Hermansen(宣教師、法学部教授) 小菅 正伸(商学部教授) クリスマス賛美歌練習 嶺重 淑(宗教主事) 献血実行委員会 成田 いうし(日本キリスト教団 磐上教会牧師) 献血実行委員会
12月7日(木)	神 文 社 法 経 商 人 国 総 聖和	東 よしみ(神学部准教授) Andreas Rusterholz(宗教主事) クリスマスを前にして② 打樋 啓史(宗教主事) 中道 基夫(院長) 「共生」の実り~ココファームワイナリーの果実~ 舟木 讓(宗教主事) 堀江 有里(日本キリスト教団牧師・京都教区巡回教師) 音楽チャペル 学生チャペルオルガニスト Musical Chapel in English 関西学院聖歌隊 李 相勲(宣教師、経済学部准教授) 李 善恵(宣教師、人間福祉学部教授)
12月8日(金)	ランバス 神 文 経 理・工・生環	アドベントを迎える 中道 基夫(院長) 音楽チャペル 関西学院交響楽団 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事) 定年退職者最終講話③ 村田 治(経済学部教授) 打樋 啓史(宗教総主事、社会学部教授)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

12月8日(金) クリスマスの賛美歌を歌おう 水野 隆一(神学部教授)

Zoomでご参加希望の方は、宗教センター(shukyocenter@kwansei.ac.jp)へメールでお知らせください。

年の暮れに夜明けの歌を

竹内 伸宜

『あとかくしの雪』という昔話があります(木下順二作『日本民話選』所収)。学生の頃、教育学の先生からその一解釈を初めて学びました。

ある冬の日、旅人が「なんともかとも貧乏な百姓」の家に宿を乞い、百姓は「何ひとつ旅びとにもてなしてやるもんがない」ので「となりの大きないえの、大根をかこうであるところから大根を一本ぬすんできて、大根やきをして旅びとに食わしてやった」というあらすじの話です。その後、雪が降り積もって、百姓の足跡は「あゆむあとからのように、すうっとみんな消えてしもうた」という結末が語られます。

当時ピアジェの『児童道徳判断の発達』に興味をもっていた私は、コールバーグの「ハインツのジレンマ」として知られる実験課題を連想しつつ、道徳判断の主体たるこの主人公の自律的法規範意識はいかなる発達段階に値するか、という視点でこの物語と当初は向かい合ったことを思い出します。

ところでこの昔話は「この日は旧の十一月二十三日で、今でもこのへんではこの日には大根やきをして食うし、この日に雪がふればおこわをたくもんもある」という言葉で結ばれています。即ち、この話を語り伝えてきた共同体の人々は、厳しい冬の自然がもたらした積雪によって主人公の「罪」のふるまいの痕跡が消去された出来事に、救いがもたらされるべき尊い出来事、新たな年の初めを祝う信仰の対象、として優しいまなざしを向けていることが明かされるのです。

昨年冬、私は短大HPの教員コラムで映画『クリスマスのその夜に』(ベント・ハーメル監督, 2010)の話題に上記昔話を一言添えて紹介しました。映画の中では、敵対する文化を越えて結ばれた夫婦が戦場から逃れた雪深き地で、新しい命を授かるエピソードを中心に、難問を様々に抱え込んだ登場人物たちがそれぞれの人生の節目と対峙する姿が描かれます。映画を鑑賞する観客は、静かに降り積もる雪の中、各々の人生の岐路を温かく見守るまなざしでかかわるように導かれます。ウクライナやガザをはじめ、世界が戦争という暗い闇に包まれたままの年の瀬に、この映画について再び語らねばならないことには複雑な思いがありますが、「春の目覚め」に向けた「夜明け」を希求しつつ、暖かな気持ちでクリスマスを迎えたいと思います。

(聖和短期大学保育科教授)

●クリスマスツリー点灯式 -アドベントを迎えて-

アドベント(待降節。今年度は12/3から)に入った翌日、関西学院はクリスマスツリーに点灯し、クリスマスの準備を始めます。どなたでもご自由にご参加ください。

実施日:12月4日(月)

場 所:西宮上ヶ原キャンパス	中央芝生	18:50~19:20
神戸三田キャンパス	アカデミックコモンズ前	17:30~17:50
西宮聖和キャンパス	2号館前	17:10~17:40

●ランバスチャペルアワー

西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂では、隔週金曜日の10:35~10:55に学部を超えたチャペルアワーを実施しています。皆様のご参加をお待ちしています。

12月8日(金) アドベントを迎える 中道 基夫(院長)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の月1回チャペルアワーを実施しています。場所は1405教室です。どなたでもご自由にご参加ください。12月は曜日と時間帯を変更してミニコンサートとクリスマス礼拝を実施いたします。

12月13日(水)

17:00~17:20	関西学院グリークラブによるミニコンサート/1階ガレリア
17:50~18:20	クリスマス礼拝 打樋 啓史(宗教総主事)/1405教室

●第226回ランバス演奏会「神よ、我を憐れみたまえ」

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。ランバスチャペルに響く歌とリュートの音色をたっぷりお楽しみください。(入場無料/予約不要)

出演者:平井満美子/ソプラノ 佐野健二/リュート

日 時:12月11日(月)17:00開演(18:10終演予定)

場 所:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス) 主 催:関西学院宗教センター(tel.0798-54-6018)

●秋の献血週間のお知らせ(西宮上ヶ原キャンパス)

宗教総部では、秋の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

日 時:12月7日(木)~12月8日(金)10:30~11:30/12:40~17:00

場 所:吉岡記念館ラウンジ 主 催:宗教総部献血実行委員会

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントを大阪のザ・シンフォニーホールで開催いたします。

参加費(入場料)は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

日 時:12月19日(火)17:30開場 18:30開始 21:00終了予定

場 所:ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南2-3-3)

内 容:第一部...聖書朗読と音楽で綴る降誕物語とクリスマスメッセージ
第二部...学院の音楽団体とゲストによるクリスマスコンサート

参加費(入場料):2,100円 当日座席指定(16:30より座席券と交換)

チケット販売(10/6より販売中):

*関西学院大学生協(tel.0798-53-5150 NUC, KSC, NSCで販売)

*チケットぴあ Pコード 253-010 <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/>

*ぴあ取扱いのコンビニエンスストア:ファミリーマート、セブン・イレブン

*ザ・シンフォニーチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内 tel.06-6453-2333・火曜定休)

<https://www.symphonyhall.jp>

主 催:関西学院 共 催:関西学院後援会・関西学院同窓会

お問い合わせ:関西学院宗教センター(tel.0798-54-6018)

チケットぴあ



ザ・シンフォニー
チケットセンター

